

模擬サイバー攻撃試験業務提案競技企画提案書等作成要領

模擬サイバー攻撃試験業務に係る企画提案書等の作成は、この作成要領によるものとする。

1 全体構成

(1) 企画提案書等の構成

企画提案書等は、「模擬サイバー攻撃試験業務提案競技実施要領」（以下「実施要領」という。）に定める様式、及び「模擬サイバー攻撃試験サービス 提案依頼書」（以下「提案依頼書」という。）に基づき、「3 企画提案書等の記載内容」に掲げる事項を漏れなく記載すること。

ア 企画提案書

後述の「3 企画提案書等の記載内容」で求められている事項をすべて記載すること。

イ 提案価格

実施要領に示す様式を使用すること。

ウ 対応可否表

実施要領に示す様式を使用すること。

(2) 提出書類及び提出部数

正本にのみ、押印すること。

ア 企画提案書（実施要領様式第3号及び提案書本体） 正本1部 副本8部

イ 提案価格（実施要領様式第4号） 正本1部 副本8部

ウ 対応可否表（実施要領様式第5号） 正本1部 副本8部

(3) 書式及び製本方法

ア A4判の用紙を用いること。ただし、図表等については必要により、A3判の用紙をA4サイズに折り込むことも可とする。

イ 製本方法は自由とするが、ページが容易に離散しないように綴ること。

ウ 表紙及び目次等を除いた実質的なページ数を、最大でも100ページ程度とし、中央下にページ番号を付すること。（提案価格及び対応可否表関係除く。）

エ 企画提案書の表紙には、あて名「青森県立中央病院長」、タイトル「模擬サイバー攻撃試験業務提案競技企画提案書」、提出年月日を記載すること。また、正本及び副本に提案者名及び代表者氏名を記載し、正本にのみ代表者印を押印すること。

オ 表紙の次に目次を入れること。

- カ 専門的な知識を持たない者でも理解できるように、イメージ図等を用いるなど極力分かり易い表現で記載すること。
- キ 企画提案書の内容をまとめた概要（A4判1枚）について別途作成の上、提出すること。

（4）留意事項

- ア 企画提案書には、パンフレット、カタログ等の資料添付は認めない。
- イ 提出を受けた企画提案書は返却しない。
- ウ 企画提案書の記述は、原則として項目ごとに記述しなければならない。ただし、必要かつ合理的な範囲において、関連する他頁の参照を認める。

2 記載注意点

企画提案書の内容において、当院が示した仕様を理解していない若しくは当該業務を実施可能かわからないと判断された場合には、審査しない場合があるので十分に注意すること。

【不可とする例】

- （1）当院が示した提案依頼書において要求する内容に対して、単に対応できる又は実施可能と記載し、具体的な実現方法等の提案等が明記されていない場合。
- （2）当院が示した提案依頼書の単なる転記である場合。

3 企画提案書等の記載内容

企画提案書の記載にあたっては、以下に示す各項目について、提案依頼書に記載の各要件に対する実現範囲やその実現方法、その他独自の提案等を具体的に記述すること。

提案事項の主旨を端的に記述するとともに、分かり易さに留意すること。

企画提案書の提出後にヒアリングを実施することを想定しているが、これは企画提案書に記載された内容について行うものであるため、提案依頼書で求められている事項の詳細については、すべて企画提案書に記載すること。

また、企画提案書の記載にあたっては、提案価格以外の追加費用（オプションや追加ライセンス等）が生じる機能等については、必ずその旨を明記し、当該機能等の実装に要する想定経費を記述すること。

企画提案書に記述された内容のうち、特に追加費用の記述がないものについては、追加費用を伴わず機能を実装し、提案価格にて契約する意思があるものとみなす。

その他、提案するサービスの利用において当然に必要となる事項やその経費については、提案依頼書における記載の有無に関わらず、記述すること。

企画提案書等は、以下に示す項目（目次）に沿って記載すること。

(1) 試験実施の基本方針・全体構想

模擬サイバー攻撃試験業務を受託するにあたって、試験実施の基本方針・全体構想、本提案の独創性や強みについて具体的に記述すること。

(2) 実施実績

日本国内の病院・官公庁・銀行等での試験業務実施実績について示すこと。

(3) 業務体制等

ア 業務体制

本業務を遂行するための具体的な業務実施体制について記載すること。

イ 配置予定の要員

本業務を遂行するために、配置予定のプロジェクトマネージャ、技術者等の要員が保有する資格及びこれまでの実績等について、要員ごとに記載すること。

(4) 試験実施の目的に対する提案

提案依頼書の「1-1 実施目的」を踏まえ、項目ごとに提案事項の特徴及び概要を示すこと。

(5) セキュリティ対策

試験実施にあたって予定するセキュリティ対策について具体的に示すこと。

(6) 提案価格

試験実施の提案価格について、その内訳も含めて具体的に示すこと。

(7) 対応可否表

各仕様内容における対応可否について、対応可能である場合は「○」、対応不可である場合は「×」をつけること。欄内に「必須」とある項目については必ず充足すること。